

Ⅲ 大学入学共通テスト・大学別入学試験

(1) センター試験から共通テストへ

2021 年度から、センター試験に代わって大学入学共通テスト（※）が導入されました。入試は英語では 4 技能（聞く・話す・読む・書く）のバランス重視の観点から、リーディングとリスニングの配点割合が 100 点：100 点（200 点満点）となりました。リスニングは読み上げ語数がセンター試験から増加したことに加え、グラフや図を用いて回答する問題が大幅に増加したことでリスニング自体の難易度はセンター試験より上がりました。

※ これまで一般的に使われていた「入試」という呼び名も「選抜」という言い方に変わります。

「AO 入試」→「総合型選抜」 「推薦入試」→「推薦型選抜」 「一般入試」→「一般選抜」

(2) 大学別選抜試験

それぞれの大学や学部別に行われる個別選抜で 2 次試験とも呼ばれます。多くの場合、選抜方法は記述式・論述式の問題で受験者の学力を計ります。受験科目は文系学部では国語・英語・地歴公民、理系学部では数学・英語・理科を中心に 1～4 科目出題されます。その他、後期日程試験によく見られるものとして小論文や面接・実技試験そして複数教科にまたがった総合問題という形式もあります。共通テストの導入を受け、国公立私立を問わず各大学で「多面的評価」を取り入れる動きが見られます。教科の知識以外の面も評価しようとするもので、大学によって求められる力も試験の内容も変わる可能性があります。一般選抜も面接や書類審査を課す大学が増える見込みです。

2 次試験の科目数は少ないですが、試験内容はハイレベルなものが多く、短期間で準備をするのは困難です。2 年生が終わるまでには共通テスト突破レベルの学力を身につけ、教科書はもちろん市販の参考書や問題集に早期から取り組んで高いレベルの学力を身につけることが求められます。

(3) 調査書の変更

「主体的に学び」「自らを評価して」「新たな課題を見つけ」「改善していく」資質・能力を評価するため、各大学に提出する調査書もより具体的な記述が必要なものに変更されました。

高校時代、学習や課外活動（部活動や生徒会活動、ボランティアなど）、資格や検定試験などにどのような取り組んだかを記録しておくためにポートフォリオの提出を導入する大学も増えてきました。

受身でなく自ら積極的に物事に取り組み、記録を残しておきましょう。

(4) その他

1. 募集要項の入手方法

入学案内や募集要項は早めに取り寄せ、志望校を選び受験スケジュールを立て、余裕を持って願書の準備をしましょう。なお、共通テストの願書は当校進路指導部で用意しますが、学校別の募集要項などは各自で直接志望校に申込み、入手してください。

2. 提出書類

志望校への提出書類は一般的にはつぎのものです。

- ② 入学願書…志望校の書式に従い、必要事項をもれなく記載し、提出してください。
- ② 調査書…書類審査では最も重要な資料の一つとなります。担任の先生が準備しますので、早めに申し出てください。
- ③ 推薦書…推薦型選抜の場合、高等学校長発行の推薦書を提出しなければなりません。(自己推薦は除く)
- ④ 健康診断書…学部・学科によっては提出を求められる場合があります。

※いずれも数日で用意できるものではありません。余裕を持って早めに準備してください。

3. 出願手続き上の諸注意

- ① 志望校へ提出する全ての書類はボールペンなどを使い、楷書で記入してください。修正液などの使用は許可されませんので、あらかじめ鉛筆でうすく下書きをし、慎重に記入してください。マークシートなどの特別な用紙の時はより注意深く記入してください。
- ② 「調査書」「推薦書」の発行は担任の先生を通じて請求します。指定の様式に従い請求用紙にその旨を記入し、出願締切日から逆算し、余裕を持って請求してください。
- ③ 願書などに使用する写真については、サイズ・枚数などの項目を校内で行われる願書用写真撮影日までに募集要項で必ず確かめておいてください。また受験時に眼鏡をかける場合は必ず撮影時に眼鏡をかけてください。
- ④ 受験料の支払い方法(「為替」「小為替」「振込」「現金書留」など)も大学により違いますので募集要項で必ず確認してください。
- ⑤ 郵送で出願する場合、願書受付締め切り日 必着か 消印有効かを確認しておいてください。
- ⑥ 併願をする場合は難易度・試験日程・受験科目などを考慮し、無理のない計画を立ててください。
- ⑦ 宿泊や旅券の手配は早めに済ませておいてください。選抜時期は受験校近郊の宿泊所は満室になることが予想されます。

(参考資料)

令和6年度(2024年度)大学入試センター試験及び国公立大学入学者選抜実施日程

月	大学入学共通テスト	国公立大 総合型・推薦型・一般選抜
4月		
5月		
6月		選抜要項発表 ☆総合型選抜・出願エントリー開始(学校による)
7月		
8月		☆総合型選抜・出願受付開始(学校による)
9月	共通テスト「受験案内」配布	
10月	共通テスト・出願受付	☆推薦型選抜・出願受付開始
11月		☆推薦型選抜試験・実施(12月中旬頃まで) 大学ごとに「募集要項」(願書)配布開始
12月	受験票の送付(上旬ごろ)	
1月	共通テスト実施 1月13日(土)・14日(日) 追試験(1/20, 21) ※試験後に発表される正解をもとに自己採点し、2次試験の出願先を決定する。	☆推薦型選抜・合格発表(1月下旬頃まで) 2次出願受付開始(1/22～1/31)
2月	平均点などの最終発表 2月初め(予定)	2次前期日程試験(2月25日～)
3月		前期日程合格者発表(3月1日～10日)* 国立は6日～ 公立大中期日程試験(3月8日～) 2次後期日程試験(3月12日～) 前期日程入学手続き締切 中・後期日程合格者発表

令和6年度(2024年度)大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点)
国語		『国語』	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	『倫理、政治・経済』は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理、政治・経済』			
数学	①	「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』	『数学Ⅰ・数学A』は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 [場合の数と確率、整数の性質、図形の性質]	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	70分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	『数学Ⅱ・数学B』は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 [数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測] 『簿記・会計』は、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、財務会計の基礎を出題範囲とする。 『情報関係基礎』は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、『簿記・会計』及び『情報関係基礎』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分(100点)
理科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点)
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」		A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)

外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	『英語』は、「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とし、【リーディング】と【リスニング】を出題する。 なお、【リスニング】には、聞き取る英語の音声をも2回流す問題と、1回流す問題がある。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』及び『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	『英語』 【リーディング】 80分(100点) 【リスニング】 60分(うち解答時間30分) (100点) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 80分(200点)
-----	---	---	--	--

備考 1 「 」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上設定されている科目を表し、『 』はそれ以外の科目を表す。

- 2 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史 A」と「世界史 B」，「日本史 A」と「日本史 B」，「地理 A」と「地理 B」，「倫理」と『倫理，政治・経済』及び「政治・経済」と『倫理，政治・経済』の組合せをいう。
- 3 地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において 2 科目を選択する場合は，解答順に第 1 解答科目及び第 2 解答科目に区分し各 60 分間で解答を行うが，第 1 解答科目及び第 2 解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。
- 4 理科①については，1 科目のみの受験は認めない。
- 5 外国語において『英語』を選択する受験者は，原則として，リーディングとリスニングの双方を解答する。
- 6 リスニングは，音声問題を用い 30 分間で解答を行うが，解答開始前に受験者に配付した IC プレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする